BUNTO

ぶんと通信

VOL.146
2023.2.1

為事―しごと―

吉岡（よしおか）　克典（かつのり）　さん

TOPICS

為事（しごと）

吉岡 克典（よしおか かつのり）さん

師走の雨催（もよ）いの午後、ぶんとのアウトリーチ事業が行われた。中学校の体育館で静かに座る生徒たちを音楽が包む。一曲弾き終えたヴァイオリニストが生徒に楽器を手渡した。「君これ持ってみてよ！」指名された14歳は困惑顔、その他の生徒とヴァイオリニストはちょっとワクワクしていた。

吉岡克典、大阪交響楽団所属。伊賀に祖父母がいる。ヴァイオリンには3才で初めて触れた。気になることがあればそちらに集中してしまう性格から、ヴァイオリンよりも先生の煙草の煙の輪を追いかける幼児だった。しかし、興味があることにはただならぬ集中力を発揮、先生にようやく持つことを許されたヴァイオリンは一度で弾けてしまったという。

12月２日 緑ケ丘中学校にて

小中学校時代はサッカー三昧、本人曰く「かなりのやんちゃ」で学校の成績は良いとは言えず、ヴァイオリンもさぼりがち。それでも進学を考えた時、ヴァイオリン以外思い浮かばず、あれこれ猛特訓の末兵庫県立西宮高校音楽科に入学。卒業後は欧州留学を志望したが周囲の勧めで大学を受験、桐朋学園ディプロマコースで江藤俊哉氏に師事するも、師が病に倒れ道を見失う。完全に音楽と距離を置く日々の中、祖母に自分の音を聴いてもらっていないことに気づき、上野市文化会館の『第22回新人演奏会in いが』（２００２年）に参加。再び膨らんだ音楽への思いに単身チェコに渡りプラハ音楽院に学ぶが、父の病の報にこれも道半ばでの帰国となった。その後大阪交響楽団に入団、仲間ができて改めて視野が広がった。アウトリーチ等で音楽の裾野を広げる活動は、まっすぐな道を通らなかった自分だからこそできる。困難に遭遇すると不思議といつも差し伸べてくれる手があった。そんな人達がいて、今の自分があると思っている。

「この時間が君たちがどういう人間になりたいかということを考えるきっかけのひとつになればと思います」と結んだヴァイオリニストが去ってのち、伊賀の空には大きな虹がかかっていた。

（文 広報事業委員 今西 由佳・写真 服部 保之・山口 貴史）

クラシックコラム

これからも・・

「大人からでもヴァイオリン弾けるようになる?」と勇気を振り絞って尋ねた私に「もちろん！」とレッスンしてくださったロシア人の先生との出会い、ジュニアオケの指導をされている先生やオケ活動をされている方とのご縁もあり、いつかオーケストラで演奏することを夢見ていた。しかし生活の変化となかなか上達しない辛さとが相まって、ケースに仕舞い込んで年月が経ったある日、「やっぱりヴァイオリンが弾きたい！」と先生を探し、レッスン2年目が過ぎた頃、先生から伊賀コミュニティオーケストラのエキストラのお声かけいただき、挑戦することに。でも初めて手にしたオーケストラ譜は完全に未知の世界（涙）。もがき苦しみなんとか迎えた本番。心臓が飛び出そうなほどの緊張状態。みんなに支えられながら音のハーモニーの波に乗れたあの瞬間・・。初めてヴァイオリンを手にしてから随分時間はかかったけれど、やっと。そしてこれからも。いろいろな出会いを大切にしながら演奏活動を続けていけたらいいなと思っています。

コロナ禍で2年越しとなった第19回定期演奏会を無事終え、伊賀コミュニティオーケストラもいよいよ活動再開。5月のさんさんコンサート、そして10月には伊賀オケの節目となる第20回定期演奏会を前に団員一同練習にも熱が入ってきました!!演奏会に是非とも足をお運びいただけましたら幸いです。

※伊賀コミュニティオーケストラの団員による執筆は今回で終了いたします。次回からは大阪交響楽団の団員による執筆が始まります。

伊賀コミュニティオーケストラ
加道 由香里（かどう ゆかり）
（ヴァイオリン）

夢ing

伊賀を愛し、愛されるが故の起業の仕方

「伊賀での楽しい思い出や、美しい景色は今の自分を作ってくれています。伊賀が好きだから、伊賀の力になりたい」。

総務省地域力創造アドバイザーとして全国を飛び回り、地元の人と一緒に街づくりを行なっている人がいる。伊賀市小田町出身の児島永作さんだ。児島さんは、通販会社大手の『フェリシモ』に入社後、東北事務所長などを歴任した。退職後、株式会社キカクラボを設立し、商品開発や街づくりなどに携わっている。伊賀市では、地域力創造アドバイザーとして、「観光まちづくり企画塾」の講師等を務めている。

冒頭の言葉の通り、児島さんの伊賀を愛する気持ちは、身体全体から溢れ出ている。満を持して、2021年11月伊賀市西高倉に、体感型地域商社「株式会社感じる伊賀」を設立した。

「自分が経験したことを伊賀に全て使いたいです。そう考えた時、伊賀の美味しいものや、伊賀を体感できることを発信することから始めようと思いました」。

児島さんは、伊賀の美味しいものを全国に届けることからスタートさせた。それと同時に、新しい人の流れを生むべく、サイクリングイベントを開催した。合言葉は、「消費カロリーより摂取カロリーを増やす」。参加者は、チェックポイントで、伊賀の美味しいものを楽しんだ。まさに、五感で伊賀を楽しむイベントだ。

着眼点の鋭い児島さんだが、最大の魅力は人を巻き込み共創していく力だと感じる。このサイクリングイベントも、「観光まちづくり企画塾」のメンバーや、伊賀市サイクリング協会の方々と協働して生み出された。自然と人が集まり、児島さんを後押ししていく。伊賀を愛し、愛されているからだろう。

「事業を通して地域に貢献したい」。ビジネスを生業にする児島さんのモットーだ。通販事業では、伊賀で頑張る個人商店の方々を後押しする。そして会社の利益は、どんどん伊賀に投資し、伊賀をアップデートしていく計画だ。未来を語る児島さんの表情は柔らかく、そして力強い。

例えば、伊賀の子ども達が、日本や世界で活躍する人と学べる場づくりなども視野にいれている。伊賀で育った子ども達が、世界に大きく羽ばたいていくことを願っているからだ。児島さんを取材した僕もまた、寺子屋という学び場をしている。児島さん達「感じる伊賀」とこれから連携して、子どもの学びを広げていく予定だ。

伊賀は先人から脈々と流れる豊かな文化があり、創造力豊かな場所。次は、今を生きる私たちがそれを引き継ぎ、次世代に繋いでいく。児島さんもまた、伊賀の文化の継承者なのだ。

（文　広報事業委員　堤　真人・写真提供）

株式会社感じる伊賀
児島（こじま）　永作（えいさく） さん

一筆啓上ふるさとへ

伊賀忍者を世界へ

伊賀で生まれ育ち、18歳で京都芸術大学へ、そして社会人となり、京都に住んでいます。所謂進学をきっかけに故郷を離れた一人です。

広告デザイン会社に18年務め、その後両親二人が切盛りしていた会社を継ぎました。ちょうど40歳、これからの人生を考えた時、ふと伊賀への想いが巡ってきました。離れてからもよく伊賀に帰り、友人を連れていっては伊賀自慢をしていたものです。伊賀は自分を育ててくれた場所、自分のルーツ、アイデンティティ、思い出が詰まったふる里。伊賀に何か恩返し出来ないか、そんな想いがふつふつと湧いてきました。

そして四十にして惑わず、忍者になった訳です。周りからすれば唐突だったかもしれませんが、自分にとっては自然な流れで、原点回帰、そして今まで学んできた事の集大成でした。とはいえまだ忍者一年生、そこから猛勉強猛修行、そして2015年に京都にて忍者体験施設「伊賀流忍者道場」を創設。今では外国人観光客が年間5千人訪れる、忍者を、伊賀を広める場所となり、日本の体験施設ベスト10にも選ばれました。少しは恩返し出来てるかな?離れた場所でも伊賀者として貢献する、そんな働き方もこれからの時代の形かと思います。

（広報事業委員　楠本 知子・写真提供）

伊賀流忍者道場　代表
市川（いちかわ）　伊蔵（いぞう） さん

「若さとは、待つことである」

伊藤たかみ

昨年末、コロナになってしまった。先にかかった妻を看病するうち一家全滅。やはり、素人が家庭内感染を防ぐのは難しい。難しすぎる。

それにしてもひとつ気がかりだったのが、僕だけ無症状だったということだ。今まで何回か受けたワクチン接種でも、自分だけ副反応がなかった。

これについては、老人だとあまり出ないという説があったのでさりげなくショックだったが、本物のコロナとなると、まるで逆のこともいわれている。無症状になるのは若い人が多くて、あちこち出歩いてしまうから広がってしまったのだとかなんだとか。

科学的に考えるとこれではつじつまが合わない。どちらかが、あるいは両方ともが間違った情報なのだろう。適当に聞き流しておけばいいのだけれど、どこかすっきりしない話だ。

つまり、僕というものは老人の側にあるのか、若い側にあるのかということである。

などといいつつ、こんなことをあれこれ考えてしまうこと自体、間違いなく若くない証拠だというのもわかっている。思い起こしてみると本当に若かったとき、一番うっとうしかったのは「若さ」そのものだった気がする。いつも待たされているような感じが嫌だった。どんな大人も、君にはまだ早いという。そりゃ、いらいらもするわさ。

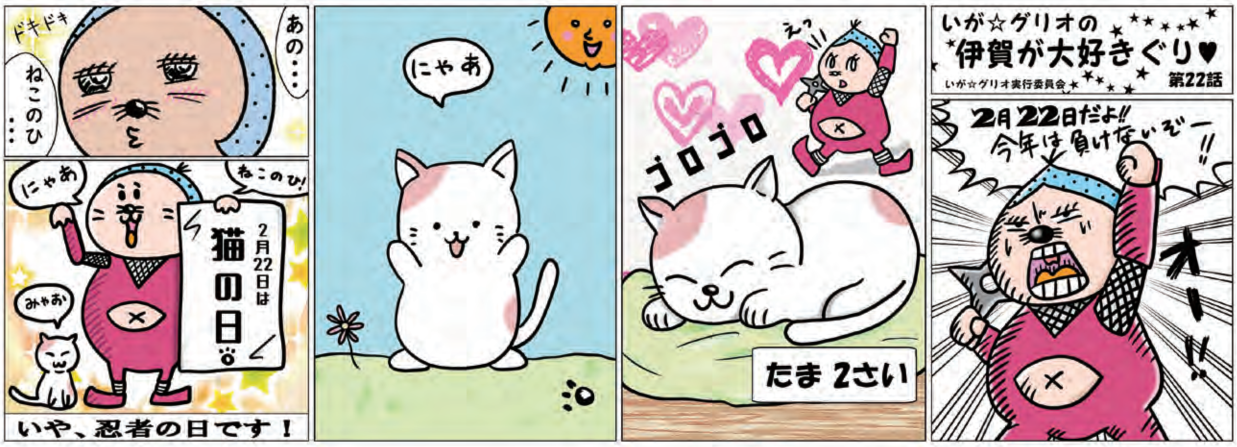
というわけでいらだちを紛らわすように青春時代を送っていたわけなのだけれど、なぜか電車やバスに待たされるのは嫌いじゃなかった。高校に通っていた当時、毎日毎日、上野市駅で電車を待たされたというのに、いらだちも焦りもなかった。ちなみに、放課後にまっすぐ帰る生徒と、部活をがんばる生徒にはちょうどいい運行スケジュールが組まれていたようだが、適度に友だちとしゃべり適度に町をぶらぶらして帰るような、むしろ健全な高校生には便利にできていなかった。その辺がいかにも大人の意地悪に思えて、もっといらだってもよさそうなものなのに。

長い待ち時間をつぶす間は、よく上野市の産業会館で過ごしたものだ。現在のきれいな『ハイトピア伊賀』からは想像できないのだが、産業会館は昭和の終わり、すでに昭和レトロ感でむんむんとしていた。過去が大きくなりすぎて、自分自身をささえているのがやっとというような建物だった。

表の角にかかっていた、長距離バスの看板が好きで、よくバスのベンチに座って眺めていたのだっけ。幟みたいに目立つ看板には、「高速・東京、横浜、名古屋行バスのりば」と書いてあった。これまたレトロな字体で昭和っぽさがあって、東京と横浜の文字は本当の距離よりもずっと遠く見えたものだ。上京なんてやめなさいと大人にさとされているようでもあるし、どうせ何を夢見たって無理でしょうとけしかけてくるようでもあり、いい感じで若さのいらいらを募らせてくれた。

当時の僕がもしコロナになり、寝室に一週間も隔離されると知ったら、一体、何をしでかしていたかしらん。

1971年生　上野高校出身、早大卒　小説家
『八月の路上に捨てる』（文藝春秋）で第135回芥川賞。
『ぎぶそん』（ポプラ社、坪田譲治文学賞）など児童書も手がける。



BUNTO EVENT INFORMATION

新型コロナウイルスのさまざまな感染拡大防止対策を行います。安心してご来場ください。なお、今後の社会情勢を踏まえ、変更する場合があります。

第18回市展「いが」（伊賀市民美術展覧会）

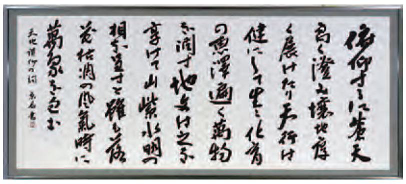
■会　　期　3月17日（金）～ 21日（火・祝）　10:00～18:00（最終日は16:00まで）
■作品搬入　3月2日（木）　正午～ 19:00
■会　　場　伊賀市文化会館（伊賀市西明寺3240-2）
■展示作品　「絵画」「彫塑工芸」「写真」「書」の４部門の作品

※出品者資格、出品規定などは、募集要項でご確認ください。
募集要項・出品申込書は伊賀市役所本庁玄関受付・文化振興課・各支所振興課・各公民館・伊賀市文化会館・あやま文化センターにあります。

第17回 市展「いが」　市展「いが」賞　受賞作

【写真部門】「手火松」
福岡　資弥

【絵画部門】「七変化柏葉」
加戸　典子


【書部門】「天地讃仰詞」
岡本　京香

【彫塑工芸部門】「Noah's Ark」
寺元　篤

市展「いが」×MUSIC CONCERT

■会　　場　伊賀市文化会館　　■料　　金　入場無料

観ても
聴いても
楽しめる。

GALLERY CONCERT（ギャラリーコンサート）
「やさしい風とともに」
■日　　時　3月17日（金）　①11:00～　②14:00 ～
■出　　演　河内　楓（ピアノ）

HALL CONCERT（ホールコンサート）
Duo you with 山本健太『３原色』
■日　　時　3月21日（火・祝）　15:00 ～
■出　　演　山本　健太（フルート）
　　　　　　福岡　裕子（クラリネット）　桂　眞優（ピアノ）
■お問合せ　伊賀市企画振興部文化振興課　☎22-9621
　　　　　　（公財）伊賀市文化都市協会　☎22-0511

なるほど～クラシック
ロマン派音楽の楽しみ Vol.4
～チャイコフスキーの魅力に迫る～

「クラシックのいろは2022」をわかりやすく鑑賞するための無料レクチャー！この講座を受けると、より一層コンサートを楽しめること間違いなし!!

Vol.22　チャイコフスキーの魅力満開
～名曲中の名曲「ピアコン№１」と「チャイ５」～

講師：鳥居明夫　（伊賀コミュニティオーケストラ指揮者）

■日　時　2月4日（土）　14:00～
　　　　　※１時間程度
■会　場　伊賀市文化会館　多目的室
■料　金　無料（事前申し込み不要）

TOUCH THE STEINWAY
憧れのスタインウェイが弾ける

■青山ホール　　　　3月12日（日）
■あやま文化センター　3月18日（土）
開催時間　各日 10:00～17:00
■演奏時間　30分
■参 加 費　1枠 500円　※1枠2名まで
　・青山ホールは2台のピアノ同時演奏も可能
　参 加 費　1枠（60分）2,000円　※1枠4名まで
■募集人数　各14枠　※先着順とし、定員になり次第締切
■申込方法　2月18日（土）11：00から電話受付
●青山ホール　　　　☎52－1109（水曜休館）
●あやま文化センター　☎43－1125（月曜休館）
※受付初日は1回のお電話で2枠までの受付とします。
※音楽教室のレッスンや発表会としての利用はできません。
※申込者以外の演奏や舞台・客席への立ち入りはご遠慮ください。
※楽器等の持込みはご遠慮ください。

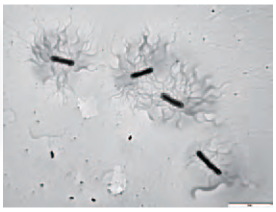
第27回　ゆめテクノ伊賀こども大学　Science Lab

☆植物の水や栄養の通り道について学ぼう！
三重大学産学官連携コーディネーター　紀平（きひら）　征希（まさき）

☆花粉ってアレルゲンなの？　三重大学名誉教授　粟冠（さっか）　和郎（かずお）

飛び散るスギ花粉

■日　　時　3月28日（火）午前の部　9:30 ～　午後の部13:30 ～
■会　　場　ゆめテクノ伊賀３Ｆテクノホール
　　　　　　（伊賀市ゆめが丘一丁目３番地の３）
■参 加 費　1,000円（材料費・傷害保険料）
■対　　象　小学生（4年生以上）
■定　　員　各部20名（応募者多数の場合は抽選）
■応募方法　専用申込フォームでの受付（応募期限2月28日17:00）
　　　　　　※詳細はホームページをご覧ください。
■お問合せ　ゆめテクノ伊賀　☎41-1061　（平日8:30 ～ 17:15）


べん毛のある細菌

葉脈しおり

BUNTO ART EXHIBITION

新型コロナウイルスのさまざまな感染拡大防止対策を行います。安心してご来場ください。なお、今後の社会情勢を踏まえ、変更する場合があります。

2. 3（金）▼ 2.12（日）
10:00～17:00
（最終日 15:00 まで）
2/8 水曜日休館

AKAIKE ART GALLERY 2023

硝子雛展Ⅶ Glass Hina Doll Exhibition

宝石のように美しく輝く「ガラスのおひなさま」
全国で活躍する35名のガラスアーティストがひとつひとつ丁寧に作り上げたガラス雛が一同に集結。武家屋敷赤井家住宅を美しく彩ります。

会　場　赤井家住宅　　入場料　無　料　※作品の販売等は有料

GLASS ARTIST

青井　功恵	浅井　千里	伊藤　泰三	稲垣　有香	岩沢　達	小幡　祐嗣	神永　朱美
川北　成彦	かわなべ かおり	川辺　雅規	ぐり　友里	竹川　久仁子	武次　聡子	小浜　恵子
小林　洋行	小林　亮二	坂田　裕昭	佐々木ちえ子	佐藤　裕実	鈴木　亜紀子	時澤　真美
徳力　竜生	新野　恭平	東山　千昭	高倉　緑	林田さなえ	廣瀬　絵美	福田　有見子
細井　基夫	三垣祥太郎	水木　一成	水口　智貴	宮城真理子	輪島　明子	保井　乃更子

2.18（土）
2.19（日）
2.25（土）
2.26（日）

雛見茶会

史跡旧崇広堂で、「伊賀上野城下町のおひなさん」の共催事業として開催。
来館者ご自身で好きな伊賀焼のお茶碗を選んでいただき、伊賀市内高校の茶華道部の皆さまほか、お抹茶の点だしや和菓子の提供をしていただきます。おひなさまが並ぶ癒しの空間で、ゆっくりとした時間(ひととき)をお楽しみください。

日　時　２月18日（土）・19日（日）・25日（土）・26日（日）
　　　　①10:00～　②11:00～　③13:00～　④14:00～
会　場　史跡旧崇広堂
参加料　400円（お抹茶・お菓子付）
協　力　上野高等学校　茶道部 (2/18)　　伊賀白鳳高等学校　茶華道部 (2/19)
　　　　あけぼの学園高等学校　茶華道部 (2/25)　　裏千家　松涛会 (2/26)
定　員　各回定員10名　予約制　　空きがあれば当日受付可能
受　付　２月５日（日）10:00から　☎22-0511で受付。１回の電話でのお申込みは２名様まで。

3.10（金）▼ 4. 9（日）
10:00～16:30
（入館は 16:00）
火曜日休館

伊賀市ミュージアム青山讃頌舎 特別展　　［共催］伊賀市教育委員会文化財課

文化の交差する所　伊賀　―出土品が語るその歴史と文化―

伊賀の文化の独自性と受容性・普遍性の両面に焦点を当て、考古資料を中心とした展示を行います。
伊賀の歴史を振り返ると、その時代の節目、節目に文化的にも優れた事物を生み出していて、6つのテーマを定めた展示となります。ぜひご高覧ください。

【1】人が住み始めたころ　【2】時代の要請に応えた須恵器窯～御墓山窯跡～
【3】出土品に見る「西」と「東」　【4】経を埋めること
【5】郷土史研究の偉人たち　【6】人と動物とのかかわり

会　場　伊賀市ミュージアム青山讃頌舎　　観覧料　一般300円（高校生以下無料）

■ギャラリートーク（展示解説）
　３月18日㊏ 、４月２日㊐
　①11:00～　②14:00～　各回先着20名（予約制）
　講師　福田典明氏

■春の呈茶会 ―当館前の桜山公園は桜の名所です―
　４月１日㊏、９日㊐
　①10:00　②11:00　③13:00　④14:00
　各回８名（予約制）　呈茶代400円

［お申込み・受付］２月11日（土）10:00から青山ホール☎52-1109で受付

伊賀華道協会 いけばな展

はな 花 華

～つながるあすへ～

4月1日(土)・2日(日)10時～17時（2日は16時迄）

伊賀市文化会館 ロビー・ホワイエ・多目的室
［主催］伊賀華道協会　［共催］(公財)伊賀市文化都市協会

入場無料

気軽に楽しく！古代遺跡で！グラウンドゴルフ！

■日　時　３月22日(水)・24日(金)
受付 9：40 ～ 開始 10：00 ～
■会　場　城之越遺跡
（雨天時：しらさぎ運動公園）
■料　金　1人500円
■定　員　各日90名
■申　込　２月12日(日)10：00から☎22-0511で受付
★どちらか１日のみ参加可能
★申込人数はお一人につき８名まで
詳しくはチラシをご確認ください。

★1位~5位まで表彰
★ホールインワン賞
★おたのしみ抽選会

一泊二日のソロキャンプ体験会 お花見ver.

ソロキャンプに興味のある方､初心者の方
インストラクターが丁寧にレクチャーします！
メスティンを使った燻製作りにも挑戦！
参加者には､お団子と地酒のプレゼント付き！

■日　時　３月25日(土)～26日(日)
■参加料　4,000円
※参加者のお子様(小学生)に限り500円で参加可能
■定　員　20名　※応募者多数の場合は抽選となります。
■申　込　２月５日(日)受付開始

夜は桜のライトアップもあるよ！

★詳細､お申込みは右のQRコードからチェック！

BUNTO EVENT INFORMATION

新型コロナウイルスのさまざまな感染拡大防止対策を行います。安心してご来場ください。なお､今後の社会情勢を踏まえ､変更する場合があります。

美容空手（おすすめ）

空手の動きを取り入れた､だれでもできる全身有酸素運動。
体幹強化､ストレス発散､柔軟性の向上におすすめです。

日 毎週月曜日　11回コース
4月10日(月)～6月26日(月)　※5月1日休講
19：30～20：30　(受付19：00～)
所 伊賀市民体育館　管理棟
¥ 5,500円　対 中学生以上
定 20名　※先着順｡定員になり次第締切。
講 松本　慎吾　先生
受 2月18日(土)15：00からTEL 24－1184で申込受付

すわったままで（おすすめ）

椅子にすわった状態で､手足を動かしながらのトレーニング&ストレッチです。無理のない動きで､徐々に筋力アップ。

日 毎週木曜日　10回コース
4月13日(木)～6月22日(木)　※5月4日休講
19：30～20：30　(受付19：00～)
所 伊賀市民体育館　管理棟
¥ 5,000円　対 中学生以上
定 20名　※先着順｡定員になり次第締切。
講 井野 由美子　先生
受 2月18日(土)10：00からTEL 24－1184で申込受付

マットエクササイズ

日 毎週月曜日　11回コース
4月10日(月)～6月26日(月)
※5月1日休講
11:00～12:00(受付10:30～)
所 伊賀市民体育館　管理棟
¥ 5,500円　対 中学生以上
定 20名　※先着順｡定員になり次第締切。
講 藤川　恵美　先生
受 2月13日(月)9：00から
TEL 24－1184で申込受付
※１回のお電話で２名まで受付

トランポリズム

日 毎週火曜日　10回コース
4月11日(火)～6月20日(火)
※5月2日休講
19:30～20:30(受付19:00～)
所 しらさぎ運動公園　管理棟
¥ 5,000円　対 中学生以上
定 20名　※先着順｡定員になり次第締切。
講 陶山　美佐　先生
受 2月18日(土)13：00から
TEL 24－1184で申込受付
※１回のお電話で２名まで受付

Let'sYOGAin文化会館

日 毎週水曜日　10回コース
4月12日(水)～6月21日(水)
※5月3日休講
11:00～12:00(受付10:30～)
所 伊賀市文化会館　リハーサル室
¥ 5,000円　対 中学生以上
定 25名　※先着順｡定員になり次第締切。
講 パドマ会　矢野　妙子先生
（錦　真奈美先生）
受 2月15日(水)13：00から
TEL 24－1184で申込受付
※１回のお電話で２名まで受付

ピラティス

日 毎週木曜日　10回コース
4月13日(木)～6月22日(木)
※5月4日休講
11:00～12:00(受付10:30～)
所 伊賀市民体育館　管理棟
¥ 5,000円　対 中学生以上
定 20名　※先着順｡定員になり次第締切。
講 藤川　恵美　先生
受 2月16日(木)9：00から
TEL 24－1184で申込受付

ラテン系フィットネスZUMBA

日 毎週木曜日　10回コース
4月13日(木)～6月22日(木)
※5月4日休講
19:30～20:30(受付19:00～)
所 阿山B&G海洋センター
¥ 5,000円　対 中学生以上
定 40名　※先着順｡定員になり次第締切。
講 大財 まさみ　先生
受 2月18日(土)11：00から
TEL 24－1184で申込受付
※１回のお電話で３名まで受付

Let'sYOGAin市民体育館

日 毎週金曜日　11回コース
4月14日(金)～6月30日(金)
※5月5日休講
11:00～12:00(受付10:30～)
所 伊賀市民体育館　管理棟
¥ 5,500円　対 中学生以上
定 20名　※先着順｡定員になり次第締切。
講 パドマ会　錦　真奈美先生
（矢野　妙子先生）
受 2月17日(金)9：00から
TEL 24－1184で申込受付
※１回のお電話で２名まで受付

リンパストレッチ

日 毎週金曜日　10回コース
4月14日(金)～6月23日(金)
※5月5日休講
13:00～14:00(受付12:30～)
所 しらさぎ運動公園　管理棟
¥ 5,000円　対 中学生以上
定 20名　※先着順｡定員になり次第締切。
講 高橋　一代　先生
受 2月17日(金)10：00から
TEL 24－1184で申込受付
※１回のお電話で２名まで受付

夜しあわせヨガ

日 毎週金曜日　10回コース
4月14日(金)～6月23日(金)
※5月5日休講
19:30～20:30(受付19:00～)
所 伊賀市民体育館　管理棟
¥ 5,000円　対 中学生以上
定 25名　※先着順｡定員になり次第締切。
講 山中　倫子　先生
受 2月18日(土)14：00から
TEL 24－1184で申込受付
※１回のお電話で２名まで受付

日 日時　所 場所　¥ 料金　定 定員　講 講師　対 対象者　受 申込受付

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として､定員を制限しておりましたが､4月以降開講の教室につきまして定員を緩和し制限前の人数で開催して参ります。
これからも参加者の皆様に安心してご参加いただけるよう対策を講じてまいりますので､ご理解をいただき､感染対策へのご協力をあわせてお願いいたします。

編集後記

最近、ＥＸＰＯ2025 大阪・関西万博関連の報道を目にすることが多くなってきた。12 月に大阪で開かれた万博に関する座談会に招かれた際にも、今年の４月 13 日には開催２年前イベントとして、機運醸成のため多くの事業が計画されているとお聞きした。関西エリアの東端に位置する伊賀地域においても、全国はもとより世界に発信する大きなチャンスと当然のごとく捉え、様々な分野で今後活発な動きがみられることであろう。当地の文化・芸術の発信については、正しい歴史認識に基づいた奥深い魅力と明るい未来を拓く活力ある内容となるよう期待したいものである。
そのためにも、この分野における今一度の点検・整備は不可欠かつ急務かと思われる。　（広報事業委員　菊野 善久）

BUNTO TICKET

新型コロナウイルスのさまざまな感染拡大防止対策を行います。安心してご来場ください。なお、今後の社会情勢を踏まえ、変更する場合があります。

2月18日(土)
【昼】開場13:00 開演13:30
【夜】開場17:00 開演17:30

梅沢富美男劇団 伊賀特別公演

梅沢富美男
竜　小太郎
門戸　竜二

■会場　伊賀市文化会館

料　金　指定　発売中
【前売】一般　5,000円
SaMaZaMa Club会員　4,700円
【当日】一般・会員　5,000円

2月12日(日)
開場 14:15
開演 15:00

クラシックのいろは2022
チャイコフスキーサウンドを追い求め Vol.3
チャイコフスキーの協奏曲・交響曲の真髄へ
イリーナ・メジューエワとともに…

指　揮　寺岡清高
ピアノ　イリーナ・メジューエワ
管弦楽　大阪交響楽団
プログラム　ピアノ協奏曲第１番　ほか

■会場　伊賀市文化会館

料　金　自由　発売中
【前売】一般2,000円
SaMaZaMa Club会員1,800円・高校生以下700円
ペアチケット3,500円
【当日】一般・会員2,000円
高校生以下700円／ペアチケット3,500円

2月23日(木･祝)
開場 13:15
開演 14:00

ぶんとチャイルドクラシックプログラム
０歳からのファミリークラシックコンサート

出演者　山本健太(指揮)
藤原靖子(ナビゲーター)
IGAオーケストラアンサンブル
BUNTO(演奏)

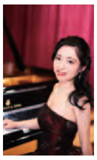
■会場　伊賀市文化会館

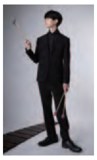
料　金　指定　発売中
一般（中学生以上）1,000円
子ども（３歳以上）　500円
※2歳以下は保護者1名につき、お子様1名まで膝上鑑賞無料(席が必要な場合は有料)

3月11日(土)
開場 13:30
開演 14:00

bimonthly Concert Vol.36
ピアノとマリンバで彩るチャイコフスキー

出演者　佐藤　愛（ピアノ）
前川礼奈（マリンバ）
亀山佳音（マリンバ）





■会場　伊賀市文化会館

料　金　自由　発売中　500円

4月9日(日)
開場 12:30(予定)
開演 13:00(予定)

第42回新人演奏会inいが

未来はここから。
三重県唯一の新人演奏会
三重県出身の音楽大学等を卒業した12名の若き演奏者たちによる演奏会

■会場　伊賀市文化会館

料　金　自由　2/26(日) 発売
一般1,000円
高校生以下無料(要整理券)

4月16日(日)
開場 13:30
開演 14:00

第33回 青山推薦コンサート

【出演者(五十音順)】
フルート　脇坂　心
ピアノ　上本　壮真
梅本　美結
久保　真寛
澤田　蒼空
田中　咲優
田中　慈子
鐵本　桐聖
仲森　妃花
日光　初音
野田　蒼真
ピアノ連弾　河内　楓・河内　みく

■会場　青山ホール

料　金　自由　3/4(土) 発売
1,000円

5月21日(日)
開場 13:30
開演 14:00

さんさん名曲コンサート

演奏：伊賀コミュニティオーケストラ
指揮：松田　德秀

■会場　あやま文化センター さんさんホール

料　金　自由　3/26(日) 発売
一般　500円　　会員　450円

ホールこれから情報

校正時点での情報です。催しについては、それぞれの催しの主催者へお問い合わせください。

伊賀市文化会館

日付	催物名	入場料	主催／問合せ先
2月 4日（土）13:30	伊賀市社会福祉法人連絡会 令和４年度市民向けセミナー	無　料	伊賀市社会福祉法人連絡会 ☎21-5866（伊賀市社会福祉協議会　総務課　福村・城）
3月26日（日）13:00	第18回ミールイRGC発表会	500円	ミールイRGC ☎080-3676-3161（中西）

あやま文化センター

日付	催物名	入場料	主催／問合せ先
2月19日（日）13:30	三重県立伊賀白鳳高等学校吹奏楽部 定期演奏会	無　料	三重県立伊賀白鳳高等学校吹奏楽部 ☎21-2110（顧問 砂原・森野・小坂）
3月 5日（日）12:30	第27回　あやま芸能まつり	無　料	あやま芸能まつり実行委員会 ☎090-1983-3730（中井）

青山ホール

日付	催物名	入場料	主催／問合せ先
3月 5日（日）13:30	春だ！和っしょい！！ 和太鼓コンサート	無　料	青山太鼓保存会 ☎090-1419-7728
3月11日（土）13:00	音夢の会「大正琴・天平箏の調べ」 及び「健康表現体操フェスティバル」	無　料	音夢の会　寺嶋しげ子 ☎63-5714
3月21日(火･祝) 13:00	ピアノ発表会	無　料	塚下由美子 ☎68-3466

青山ホールの使用再開のお知らせ

現在、青山ホールは、旧青山支所の建物解体工事などに合わせて改修工事を行っているため休館しています。
使用再開を令和５年１月４日(水)としていましたが、工事の進捗状況により休館期間を延長し、使用再開予定日を次のとおりとします。

○再開予定日　　令和５年３月２日(木)
○受付について　再開予定日までは青山グラウンドで受付を行います。(お問合せTEL0595-52-1109)

なお、休館期間は改修後の状況等により延長する場合があります。その際は、伊賀市または、当協会ホームページでお知らせします。
ご利用を計画されている方にはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

〈お問い合わせ〉（公財）伊賀市文化都市協会　☎0595(22)0511　Fax0595(22)0512　http://www.bunto.com
伊賀市文化会館　☎0595(24)7015　青山ホール　☎0595(52)1109　あやま文化センター　☎0595(43)1125
次回の発行は2023年4月1日号になります。